

学 生が高齢者の冬のくらしをサポートしています！

雪は高齢者などにとって大きな生活課題の一つです。そんな冬のくらしを多くの学生の皆様が支えています。地域の除雪活動を行っている中学校・高校を紹介いたします！



神楽中学校 野球部が除雪活動を始めました！

神楽中学校 野球部は、病気などで除雪を行うことが困難な高齢者世帯等を対象とした旭川市福祉除雪サービスの担い手であるスノーサポート隊に、本年度から登録し活動しています！

現在2件の高齢者世帯を担当し、練習時間内に依頼者宅を訪問し玄関前の除雪を行っています。除雪を行う部員の方は、「ボランティア活動は今回が初めてです。これからはきれいに除雪をしていきたいです！」と話されていました。一生懸命に活動する部員の方の姿を見て、依頼者の方も「とても真面目に除雪してくれています」と感謝されていました。

除雪活動
学生によるボランティア
地域貢献



神楽中学校 野球部
による活動の様子



旭川工業高校 野球部による活動の様子 / 市内の高校生も地域で活躍中！



旭川市では、多くの高校生が除雪活動を行っています。旭川商業高校は平成21年度から、旭川工業高校 野球部は平成30年度から、スノーサポート隊として長年活躍しています！本年度も、旭川工業高校 野球部は5件、旭川商業高校は4件の高齢者世帯等を担当されており、雪が積もった日には練習時間に訪問し除雪を行っています！

地域への感謝の気持ちを込めて

旭川龍谷高校 野球部は、かねてから「いつも応援して下さる地域の皆様への感謝の気持ち」として、学校周辺の除雪活動を行っています。令和2年度からは、地域住民に除雪で困っている高齢者世帯がないか、チラシを作成して配布し学校周辺の町内会等に周知しています。本年度は12件の高齢者世帯を3名程のチームに分かれて除雪をしています！

旭川南高校は、平成30年度から年に1回、除雪活動を希望する100名以上の生徒が、学校周辺の高齢者世帯などの除雪を行っています。

厳しい寒さの中で地域住民の冬のくらしを支えている生徒の皆様には、心から感謝の気持ちでいっぱいです！

旭川龍谷高校 野球部の皆様



「地域貢献のために何かしたい！」という想いを持つ学校や団体様からのご相談やそのほか本通信に関するお問い合わせがございましたら、ぜひご連絡ください♪



Facebook 更新中！



まちづくりボランティア
情報あさひかわ

発行
お問い合わせ

旭川市第2層生活支援コーディネーター

〒070-0035
旭川市5条通4丁目893-1 旭川市ときわ市民ホール1階
社会福祉法人旭川市社会福祉協議会内
seikatsu-shien@asahikawa-shakyo.or.jp
23-0742 / 23-0746

高齢者の皆さんが安心して生活できる地域を目指して！

生活支援コーディネーター通信 第3号



発行：旭川市第2層生活支援コーディネーター（令和4年2月14日発行）

生活支援コーディネーターは、高齢者が安心して住みやすい地域を目指し、身近な地域の住民組織や団体と連携して地域の支えあい活動を推進しています。

本通信では、旭川市内で行われている様々な高齢者支援の紹介や、生活支援コーディネーターが取り組んでいるボランティア支援等についてお知らせします。

第2層協議体を開催しました♪

生活支援コーディネーターは、地域住民や地域の団体などと一緒に、よりよい地域づくりを進めるための協議体（＝地域のみみなで地域の困りごとやできることを話し合う場）を開催しています。本号では2つの地域の協議体を紹介いたします！



コロナ禍における生活の変化、
困りごとの解決を目指して！

春光・春光台圏域「ボランティア茶話会 in 泰巖寺」

とき：令和3年11月18日（木）14時30分～16時（15名参加）
ところ：泰巖寺（春光台4条4丁目）

春光・春光台圏域では、ボランティア活動者と圏域内の福祉施設や専門職が集まる「ボランティア茶話会」を、春光台の泰巖寺をお借りして開催しています！今回は「コロナ禍における生活の変化や困りごと」をテーマに、高齢者や障害がある方、子育て世代のニーズなどを共有し、参加者からたくさんのご意見を頂きました。今後も意見交換を継続し、地域に必要な活動などを皆で考えていきます！



神居・江丹別圏域「まちコン～ステップアップ編～」

とき：令和4年1月15日（土）14時～15時30分（18名参加）
ところ：忠和地区センター（忠和5条5丁目）

「まちコン～ステップアップ編～」は、ボランティア活動者と福祉施設が連携した活動を考えるきっかけづくりと、交流を図りながらお互いを“知る”“学ぶ”“考える”場として開催しています。今回は、地域の高齢者が困っていることを共有し、コロナ禍で地域活動やボランティア活動に影響が出ていることを踏まえた上で、身近なことからできることはどのようなことか、意見交換をしました。今回の内容を基に、今後困りごと解決に向けた具体策を検討していきます！

コロナ禍の今、私たちに
できることを考えよう！



お互いさまの支え合い活動が桜岡地区で始まりました！

地域住民同士でちょっとした困りごとを無償あるいは有償でサポートする活動が、桜岡地区でスタートしました！



さくらエール「地域お助け隊」が発足！

さくらエール「地域お助け隊」は、桜岡地区を中心とした住民の有志のボランティアの集まりです。東旭川にある桜岡地区は人口の約2人に1人が65歳以上であり、高齢者のみの世帯が増えています。また、農村地区であることから住宅と住宅とが離れているため、高齢者世帯などにとって除雪やごみ出しなどの負担が非常に大きいという課題がありました。そこで、桜岡地区の有志の皆様が地域包括支援センター等との話し合いを重ね、地域の中で「お互いさま」の気持ちで助け合う「地域お助け隊」を令和3年8月に発足しました！

さくらエール「地域お助け隊」と地域包括支援センターの皆様



さくらエール「地域お助け隊」会長 後藤 依子様にごインタビューしました♪

後藤 依子 様



#地域の助け合い
#掃除・除雪など活動中！



Q. メンバーは何人ですか？

A. カフェ経営者の方など若い世代の方の参加も増え、現在12名の協力員がいます。

Q. どんな活動をしていますか？

A. 活動のメニューは、除雪や草刈り、ごみ出しやお話し相手などです。そのほかに、協力員ができる活動を行います。現在、部屋の掃除と除雪の相談を受けて活動中です！

Q. どのようにお助け隊を立ち上げましたか？

A. 地区の全世帯を対象にアンケート調査を実施し、除雪、草刈りやお話し相手など活動のニーズがあることを把握しました。調査結果を基に、メニューや料金設定などを話し合っ決めていきました。

Q. 今後の抱負をお願いします！

A. 協力員が少しずつ増えているため、依頼も増えるよう、地域の方を訪問するときに声をかけるなど、もっとPRしていきたいです！

コロナ禍でできるボランティア活動を企画しました！

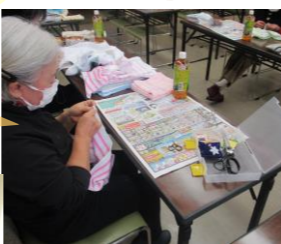
コロナ禍の今、様々な活動が制限されていますが、その一つにボランティア活動があります。特に福祉施設内での活動は中止を余儀なくされています。そのような中でも施設入所者の方等の力になれることはないか考え、このプログラムを企画しました！

「ウエス制作プログラム」の実施！

プログラム当日は5名のボランティア活動者に参加いただき、タオルを切る作業や、切ったタオルがほつれないように縫い合わせる作業をしていただきました。また、ご自宅にてウエス作成作業にご協力をいただいているボランティアさんもあり、一人一人が「コロナ禍でもできること」を考え、活動いただいています。

今回作成したウエスは市内の福祉施設へ寄付いたします。ご協力をいただいた皆様、本当にありがとうございました！

#コロナ禍でできるボランティア
#ウエスづくり



プログラム当日の様子

地域を支える担い手を養成しました！

地域活動やボランティア活動の仲間を増やすことを目的とし、全市あるいは地域ごとにボランティア養成講座を開催しています。永山圏域と全市で実施した2つの研修について紹介いたします！



永山ボランティア養成講座を開催！

令和元年度から2年度にかけて、永山地域包括支援センター等と共に、永山団地を対象とした「高齢者の生活に関するアンケート調査」を行いました。その結果、①生活の中で何かしらの困りごとを抱えている高齢者がいること、②ちょっとしたお手伝いや交流に興味・関心のある方がいることについて把握できたことから、団地内の住民を対象に、身近な暮らしの中にある「助け合いの活動」や「ボランティア活動の意義」などについて学ぶボランティア養成講座を令和3年11月から12月の間に全5回の日程(火曜日)で開催し、16名の参加がありました！



#ボランティアについて学ぶ
#団地の困りごとを共有
#できることをみんなで考える！

認知症をテーマとした講座の様子



団地で行われているながやま元気クラブの活動紹介の様子

講座終了後も活動中！

移動販売に来てもらう買物を楽しみました♪



講座の中で意見交換を行った結果、「各号棟の住民が集まり有意義な意見交換ができたので、講座終了後も定期的に集まりたい！」との意見が出たことから、「火曜会」と名付けて火曜日(毎月)に永山第2団地集会所に集まることになりました。コロナウイルス感染拡大のため集まりは延期となりましたが、団地内の課題の一つに「買物」が挙げられていたことから、火曜会のメンバーがコープさっぽろに相談し、定期的に移動販売に来てもらうことになりました。

今後についても、住民が主体的に活動できるように、シルバーハウジング事業(SK たいせつの郷)や永山地域包括支援センター等と共に支援していきます！

「令和3年度ボランティア研修-コロナ禍で光るささえ合い-」を開催！ 旭川大学 准教授 齋藤様による講話の様子

と き: 令和3年11月21日(日)14時30分~16時 (42名参加)

と ころ: 旭川市大雪クリスタルホール (神楽3条7丁目)

ボランティア活動に興味をお持ちのシニアの方を対象とし、コロナ禍によるくらしや地域の支え合い活動の変化や、コロナ禍において様々な形で行われている「ささえ合い」活動からヒントを得て、今できることについて考えるきっかけづくりを目的に、標記研修を開催いたしました。



#コロナ禍のくらしの変化
#高齢者世帯の現状
#今できる地域活動

旭川大学保健福祉学部コミュニティ福祉学科 准教授 齋藤建児様から「コロナ禍におけるくらしの変化」について講話いただき、新旭川・永山南地域包括支援センター センター長 田中誠康様からはコロナ禍の高齢者世帯の現状、ボランティア活動者 岡本忠義様、岡本和子様からはボランティア活動状況についてお話しいただきました。参加者の方からは、「コロナ禍だからこそ支え合いが必要だと感じた」、「地域の活動の参考にしたい！」といった声をいただきました。登壇いただいた皆様、参加いただいた皆様、本当にありがとうございました！



登壇者によるセッションの様子